

# 平成17年度 定期作況報告

7月20日現在  
北海道立根釧農業試験場

## ． 気 象 概 況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬：最高および最低気温が23.6および11.4 でそれぞれ平年より5.2および2.0 高かったため、平均気温は17.5 で平年より3.5 高かった。降水量は22mmで平年並であった。  
日照時間は64.2時間で平年より29.8時間多かった。

7月上旬：最高および最低気温が14.1および9.1 でそれぞれ平年より4.5および1.8 低かったため、平均気温は11.6 で平年より3.2 低かった。降水量は35mmで平年並みであった。  
日照時間は1.9時間で平年より21.8時間少なかった。

7月中旬：最高気温は22.4 で平年より1.3 高かったが最低気温が12.9 で平年並であったため、平均気温は17.7 で平年並であった。降水量は21mmで平年より40mm少なかった。  
日照時間は37.4時間で平年より10.1時間多かった。

この1ヶ月間は総じて、平年に比べ気温は並に、降水量はやや少なく、日照時間はやや多く推移した。

気象表

項 目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ( )	17.5	14.0	3.5	11.6	14.8	3.2	17.7	16.8	0.9	15.6	15.2	0.4
最高気温 ( )	23.6	18.4	5.2	14.1	18.6	4.5	22.4	21.1	1.3	20.0	19.4	0.7
最低気温 ( )	11.4	9.4	2.0	9.1	10.9	1.8	12.9	12.5	0.4	11.1	10.9	0.2
降水量 (mm)	22.0	26.0	4.0	35.0	39.0	4.0	21.0	61.0	40.0	78.0	126.0	48.0
降水日数 (日)	3	4.3	1.3	5	5.7	0.7	4	5.2	1.2	12	15.2	3.2
日照時間 (時間)	64.2	34.4	29.8	1.9	23.7	21.8	37.4	27.3	10.1	103.5	85.4	18.1

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

4) 7月18-20日のデータは欠測。欠測値は上標津のアメダス観測値で補完した。

# 当 場 作 況

## 1. とうもろこし

作況：平年並

事 由 7月上旬の低温では生育が停滞したが、その他の旬の高温傾向により、現在のところ生育の遅れは認められない。7月20日現在の草丈は、前3カ年の平均値より13cm高く、出葉数は0.3枚多かった。

したがって、目下の作況は平年並と判断される。

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エ マ	86	-	-	11.2	-	-
(前3カ年との比較)	86	73	13	11.2	10.9	0.3

注1)根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2)当場のとうもろこし作況調査は、平成14年度より供試品種を「エマ」に変更している。

3)「平年」は前7カ年のうち豊凶の平成11年および15年を除いた5ヶ年の平均値である。  
なお、算出にあたっては、過去の「品種比較試験」又は「系統適応性検定試験」の結果を含めている。

4)「エマ」について前7カ年分のデータが揃わない調査項目(草丈、出葉数)があるため、各表下段に平成14年～16年までの前3カ年のデータによる平年値と、それとの比較を掲載した。なお、各年の最終作況は、平成14、15年は不良、平成16年は良であった。

## 2. 牧草

(1)採草型(チモシー・アカクローバ混播、チモシー単播)

作況：1番草 不良

2番草 やや不良

### 事 由

1番草：チモシーの出穂期およびアカクローバの開花期は、平年よりも2日遅かった。

チモシーの草丈は平年並であったが、アカクローバの草丈は平年よりも3cm低かった。乾物収量は平年比で89%と少なかった。

アカクローバは雪腐病による冬損により著しくマメ科率が低下した。両草種とも5月上旬～5月中旬の著しい低温の影響を受け、平年に比べ生育が抑制された。また、倒伏が多かった。

したがって、1番草の作況は不良と判断された。

2番草：1番草の刈り取り時期が平年よりも3日程度遅れ、生育日数が若干短くなり、1番草刈り後の降水量が生育期間を通して平年より少ない傾向が続いたことから、7月20日の草丈は、両草種とも7～10cm低かった。

したがって、目下の作況はやや不良と判断される。

草地	草種	1 番 草								
		出穂・開花期(月.日)			草 丈(cm)			刈取日(月.日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	TY	6.26	6.24	2	108	108	0	6.27	6.24	3
	RC	7.4	7.3	1	82	85	3	6.27	6.24	3
3年目	TY	6.26	6.24	2	109	109	0	6.27	6.24	3
	RC	7.4	7.2	2	81	84	3	6.27	6.24	3
2年目	TY単播	6.26	-	-	107	-	-	6.27	-	-
3年目	TY単播	6.26	-	-	109	-	-	6.27	-	-

草 地	1 番 草								
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目TY・RC混播草地	3517	4490	973	586	653	67	19.3	61.5	42.2
3年目TY・RC混播草地	3473	4169	696	621	698	77	11.3	44.3	33.0
2年目 TY単播草地	3201	-	-	611	-	-			
2年目 TY単播草地	3145	-	-	601	-	-			

		2 番 草 7月20日草丈(cm)					
		2年目草地			3年目草地		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
混播	TY	31	38	7	30	37	7
草地	RC	17	27	10	19	26	7
単播草地	TY	30	-	-	30	-	-

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) TY：チモシー「ノック」、RC：アカクローバ「ホクセキ」

3) 平年値：2年目草地は平成12年および15年を除く5か年平均。

3年目草地は平成10年および13年を除く5か年平均値。

4) は減を示す。

5) TY「ノック」単播の作況調査は、平成15年度の2年目草地より開始し、平年値の作成中のため、平年値との比較および作況の判定データは欠である。

(2)放牧型(オーチャードグラス単播)

作況：1番草 -

作況：2番草 -

#### 事由

2番草：オーチャードグラスの草丈は、シロクローバと混播条件における平年値より高く、乾物収量は多かった。

これは、オーチャードグラスの節間伸長が、2番草の生育時期まで遅れた影響による。

3番草：オーチャードグラスの草丈は、降水量が生育期間を通して平年より少ない傾向が続いたことから、シロクローバと混播条件における平年値より低く推移している。

草地	草種	2番草			3番草		
		刈取り月日		草丈(cm)		7月20日草丈(cm)	
		本年	(混播平年)比較	本年	(混播平年)比較	本年	(混播平年)比較
2年目	OG単播	7.1	(7.2) -	72	(61) -	39	(42) -
3年目	OG単播	7.1	(7.2) -	69	(63) -	38	(46) -

草地		2番草			
		生草収量(kg/10a)		乾物収量(kg/10a)	
		本年	(混播平年)比較	本年	(混播平年)比較
2年目	OG単播	1594	(1315) -	324	(202) -
3年目	OG単播	1467	(1715) -	305	(225) -

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) OG：オーチャードグラス「オカミドリ」

3) 当場の放牧型の作況調査は、平成15年度より供試草種・品種をOG「オカミドリ」単播に変更。単播における平年値の作成中のため、平年値との比較および作況の判定データは欠である。

4) 混播平年：シロクローバ「カリフォルニアラジノ」と混播条件における、平年値(平成8年および14年を除く5カ年平均値)をデータを参考として掲載。